

コンブルクについて



シュベールビッシュハル・シュタインバッハ地区にある大コンブルクと小コンブルクは、バーデン・ビュルテンベルク州所有です。

コンブルクの歴史



コンブルク=ローテンブルク伯爵が 1078 年、

コンブルクという名は岩や石という意味のケルト語に由来すると考えられています。

ブルクハルト・コ

この古城をベネディクト会修道院に寄付し、自らも修道士となりました。1088 年にはロマネスク様式のバシリカが落成しました。3 代目の修道院長ハウロヴィツヒが 12 世紀に華麗な祭壇（祭壇前飾り）と華やかな装飾が施されたリング型燭台を寄付しました。これらの芸術品は、おそらく修道院の作業場で作られたものでしょう。



司教座教会聖ニコラウスの祭壇は、打ち出し細工を

施し、金メッキされた銅板に木製の枠がつけられています。この飾りを 12 に分割している枠縁には、繊細な七宝の装飾が施されています。長方形の枠の中には十二使徒が描かれ、中央の大光輪にはキリストが立っています。この祭壇に刻み込まれた碑文が示すとおり、最後の審判を表現しているのです。

ドイツにはリング型燭台は 3 つしかありません（アーヘン、コンブルク、ヒルデスハイム）。この燭台に立つ



48 本のろうそくが、暗いロマネスク様式教会の、唯一の光源でした。この燭台は、黙示録で書かれている、決して倒れることのない外壁や塔をもつ聖地エルサレムを表現しています。合計 12 の塔には番人（司教、聖者、天使、戦士…）が警備しており、その間に予言者が 12 の円形牌に描かれています。この燭台の芸術的価値は、1848 年になってやっと再発見されました。これは、燭台を支えている鎖が切れ、1570 年の修復で施された銅合金の塗装が剥げた時のことです。帯の部分には 144 もの植物のモチーフが施されています。



小コンブルク・聖エギディウス教会

1108 年に建立された聖エギディウス教会は、大コンブルクの向かい側にある丘の上にあるロマネスク様式のすばらしい建築物で、大コン



ブルクからは徒歩 15 分ほどです。

イベント

教員講習を行う州立アカデミーが、コンブルクのカイザーザール（皇帝の間）で演奏会や展覧会を催しています。ホーエンローエ地方の夏のプログラム（Hohenloher Kultursommer）では、聖ニコラウス教会（大コンブルク）や聖エギディウス教会（小コンブルク）でもコンサートが催されます。毎年9月には、コンブルクの文学奨学生に選ばれた文学者が、この修道院の中でひと月を過ごします。

ガイド

聖ニコラウス教会をご覧になるには、聖ミヒャエル礼拝堂 (Michaelskapelle) に次の時間にお集まりください：

4月1日から10月31日まで：

火～金 11時、13時、14時、15時、16時

土～日／祭日：14時、15時、16時

11月1日から3月31日までは、電話でお申し込みください(0791/9381851)。グループガイドは、ツーリストインフォメーションでお申し込みください



大コンブルク（Großcomburg）

Landesakademie für Fortbildung
und Personalentwicklung an Schulen
Standort Comburg
Steinbach
74523 Schwäbisch Hall
電話 +49 (0) 791/93020-0
ファックス +49 (0) 791/93020-30

コンブルクは現在、州立アカデミーが教員の研修・講習会や人材開発に使っています。会議や研修をご希望の場合は、電話でお申し込みください。州立アカデミーのホームページには、コンブルクの歴史やコンブルクのカイザーザールでのコンサートなど、詳しい情報が載っています。

<http://lehrerfortbildung-bw.de/lak/co/>